

消費者物価指数 2025 年基準改定の概要

1 改定の趣旨

消費者物価指数では、消費者物価の測定精度の維持向上と物価指数の有用性の確保の観点から、西暦年数の末尾が 0 と 5 の年に合わせて 5 年ごとに指数の基準年次を更新する「基準改定」を行い、採用する品目やウエイトなどを見直しています。

2 主な改定内容

(1) 基準時の更新

2020 年（令和 2 年）＝100 → 2025 年（令和 7 年）＝100 に改定しました。

(2) ウエイトの更新

更新する指数の基準年次と同じ 2025 年の家計調査の結果等を用い、2025 年の平均 1 か月間の 1 世帯当たり品目別消費支出金額を基にウエイトが作成されました。

ウエイトの更新状況（1 万分比）

10 大費目	全国			山形市		
	2025 年基準	2020 年基準	増減	2025 年基準	2020 年基準	増減
総合	10000	10000		10000	10000	
食料	2754	2626	128	2686	2627	59
住居	2182	2149	33	1795	1910	▲115
光熱・水道	698	693	5	849	918	▲69
家具・家事用品	372	387	▲15	336	374	▲38
被服及び履物	299	353	▲54	325	326	▲1
保健医療	466	477	▲11	403	415	▲12
交通・通信	1444	1493	▲49	1631	1741	▲110
教育	311	304	7	257	293	▲36
教養娯楽	906	911	▲5	950	813	137
諸雑費	570	607	▲37	768	582	186

(3) 品目の改定

家計消費支出における重要度等を踏まえ、19 品目が追加、11 品目が廃止、2 品目が 1 品目に統合されました。新基準の指数の作成に用いられる品目数は、589 品目となります。

3 改定の時期

公表資料の切替えは、令和 8 年 7 月分からです。

4 新・旧指数の接続

過去の指数について遡って時系列比較ができるように、各基準年を 100 とする指数を次の基準年の年平均指数で除する方法で算定した「接続指数」を作成しています。

例) 2020 年基準指数を 2025 年基準指数に接続する場合の計算式

$$\begin{array}{l} \text{2025 年基準} \\ \text{接続指数} \end{array} = \text{2020 年基準指数} \times \frac{100}{\text{2020 年基準の 2025 年平均指数}}$$

5 変化率の取扱い

変化率（前月比、前年同月比、前年比）については、各基準年の公表値とし、接続指数による再計算を行いません。また、基準年における変化率のうち、前年比、1 月の前月比、1～12 月の前年同月比についても、旧基準における指数値によって計算されたものを用いています。したがって、変化率は接続指数で計算したものとは必ずしも一致しません。